



ワクチン接種会場へ 「マスクがつけられませんシール」 寄贈プロジェクト

【プロジェクト背景】

マスクの着用ができない方がワクチン接種会場に入ることを断られるケースが各地の接種会場で発生しています。厚生労働省は、「マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について」として、感覚過敏などがある方でマスクが着用できない人に対して国民の理解を呼びかけています。

障害や病気など様々な理由でマスクが着用できない方も問題なく接種できる会場もございますが、マスク未着用での接種を断っている会場もあるようです。

また、マスクがつけられない当事者が、最初から接種会場に入れないと諦めているケースも見受けられます。本来、ご本人が接種を希望されるならば、マスクができない事情がある方への接種を進めることが感染拡大の防止につながると感覚過敏研究所は考えます。



【プロジェクトの目的】

- ①接種会場の窓口の方への情報提供と対応方法を検討いただく機会になること
- ②接種会場にいらっしゃる他の方々への不安をやわらげるため
- ③マスクがつけられない人が接種しやすい状況をつくるため

【プロジェクト概要】

配布・寄贈物	マスクをつけられませんシール
寄贈枚数	各会場に必要とされる枚数(10-200枚程度。追加寄贈可能)
寄贈先	集団接種会場または、個別接種対応の病院
費用	無料(シール代、送料はプロジェクトが負担)
申し込み・詳細	プロジェクトページ https://kabin.life/archives/3707

↓ プロジェクトページ ↓



【自治体からの声】

- ・マスクがつけられない人が会場に来る想定をしていませんでした。対応方法を考える機会になりました。
- ・ネームホルダーを首から下げることが難しい方もいらっしゃるのので、シールは負担が少なく手軽でいいと思いました。
- ・手話通訳者が付き添いで来場されましたが、口元の動きで会話する聴覚障害の通訳の場合、マスクを外します。それをご覧になった方からマスクをつけて欲しいと要望がありましたが、様々な事情でマスクがつけられないケースがあることを知る必要があると思いました。

【プロジェクトのお問い合わせ】

 **感覚過敏研究所**
<https://kabin.life/>

感覚過敏研究所 担当:加藤 メール: info@crystalroad.jp



ワクチン接種会場における 「マスクがつけられませんシール」 ご利用方法

【手順】

- ① マスクをつけていない人がいらっしゃった場合、マスク着用が可能か、感覚過敏や疾患などで着用が難しいか確認をお願いします。
- ②着用ができる場合は、接種会場・病院内でのマスク着用をお願いし、困難な方は、「マスクがつけられませんシール」を1枚お渡しください。(説明用の小さなチラシも用意しておりますのでお渡しください)
- ③会場にいる人に見えやすい位置に貼っていただきます。
- ④会場・院内にいる間はシールをつけていただきます。
- ⑤使用後のシールの扱い(廃棄・再利用)はご利用者にお任せします。

【接種会場でご検討いただきたいこと】

- ※ 事前に電話などでマスク未着用で接種可能か問い合わせをされる方もいらっしゃいますので、電話を対応される方に、マスク未着用の際の対応方法について情報共有をお願いします。
- ※ マスク未着用の方の待機場所、接種場所などは各接種会場にてご検討をお願いします。
- ※ ホームページなどのQ&Aにマスク未着用の方への対応方法について掲載をご確認ください。

(参考) 東京大規模接種センター(東京センター)の掲載例

Q 感覚過敏のため、マスクをつけることができません。マスクをつけずに、東京センターに入ることはできますか。

A マスクをつけられない理由を、センターの職員にお伝えください。意思表示バッヂ・カードをお持ちの方は、ご持参ください。

【寄贈内容】



シール

ご希望の枚数を寄贈いたします。枚数の予測ができない場合は10-30枚をテスト運用ください。不足時には再度お送りできます。



ポスター・チラシ

受付用ポスター(A4サイズ)を数枚同封しています。また、ご利用者向けにシールと同数のミニサイズのチラシも同封しています。

ポスターはプロジェクトページよりダウンロード可能となっております。不足やサイズ変更での印刷時にご利用ください。

【プロジェクトのお問い合わせ】

 **KABIN LAB**
感覚過敏研究所
<https://kabin.life/>

感覚過敏研究所 担当:加藤 メール: info@crystalroad.jp